

防災通信

— 防災気象情報の変更 その2 —

松原第6町会 2023年 2月 15日

松原第6町会防災アドバイザー 黒澤

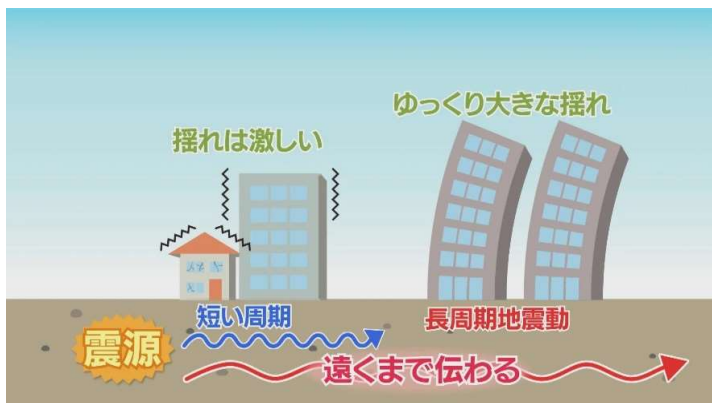
さる2月1日に防災に関して新たな警報の追加変更が気象庁からありました。

「**長周期地震動予測情報**」です。

【長周期地震動とは】

長周期地震とは、どこかで大きな地震が生じた際、遠く離れた震度の小さな地域へも伝わる振動のことで、これも地震動と言います。高層ビルの高層階で長い時間大きく揺れを生じます。そこで高層ビル内での的確な防災・避難対応を目的に、概ね14~15階建以上の高層ビルを対象として、長周期地震動に関する情報を提供することになりました。

ただし10階以上の高層ビルでも長周期地震動は観測されるとの東京消防庁の見解もあり、松本市内のビルでも、その高層階のレストラン等の場で遭遇する可能性があります。



図の出典 YH00!ニュース
1/31(火) 17:06配信



【どう変わるの？ 緊急地震速報への追加 2月1日正午から】

今までテレビや携帯・スマホなどを通じて警告通知される「緊急地震速報」に、以下の表の階級3以上の「長周期地震動」が追加されます。

【長周期地震動の階級と対応行動について】

階級	体感	室内の状況	行動
階級1	ほとんどの人が揺れを感じる	ブラインドや半固定看板など吊り下げものが大きく揺れる	揺れが治まるまで静止している
階級2	大きな揺れを感じ何かにつかまりたい	キャスター付き什器（事務機器・家具家電等）が動き、棚の物が落ちる	物につかまらないと歩くことが難しいので無理に歩かない
階級3	立っていることが困難になる	キャスター付き什器が大きく動き固定していないものは移動し、不安定なものは倒れる 壁の割れ・亀裂が入ることがある	四つんばいになって、はわないと動くことができない人が出るため、固定されている机の下などに隠れ頭を保護する
階級4	揺れにほんろうされ立っていることができない	固定していないものの大半が倒れ大きく移動し、場合によっては窓ガラスを破損する可能性もある 壁の割れ・亀裂が多くなる 恐らくエレベーターは緊急停止する	はわないと動くことができないため固定物につかまり身体を固定し揺られないようにする 地上にいる場合は上からの落下物を避ける場所に避難する

赤枠囲みが「緊急地震速報」に追加

※この表は気象庁の資料から抜粋し、+アルファを追加しました

出典 気象庁：長周期地震動について

緊急地震速報の発表基準の変更

